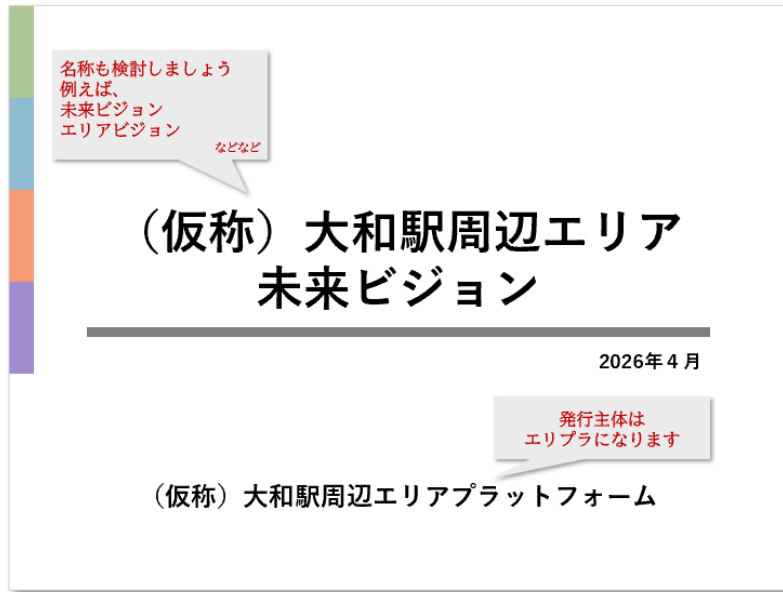


【参考】未来ビジョン目次



36～40ページ程度のボリュームを想定しています。

プロローグ・大和駅周辺のワクワクする未来

1・はじめに

- 1) 取組のきっかけ
- 2) 官民連携まちづくりの必要性
- 3) エリアプラットフォームについて
- 4) 未来ビジョンとは

2・大和駅周辺の今

- 1) 大和駅周辺の特徴を捉える
- 2) 市民にとっての大和駅周辺
- 3) 大和駅周辺の内なるチカラ

3・ワクワクする未来に向けて

- 1) 基本理念
- 2) 4つの方向性と取組方針

4・実現に向けた今後の動き

- 1) エリアプラットフォームの役割と取組姿勢
- 2) エリアプラットフォームの体制
- 3) ロードマップ
- 4) リーディングプロジェクトの切り口

【参考】未来ビジョンの書割イメージ



1) 取組のきっかけ

第1章・はじめに

これまでの大和駅周辺

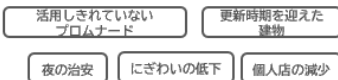
まちの資源

大和駅周辺では、平成5年に相模鉄道本線が地下化され、その後、上部路線地でブルムードが完成しました。以降、活気とにぎわいの創出につながるような施設整備や環境づくりなどが進められてきました。



まちの課題

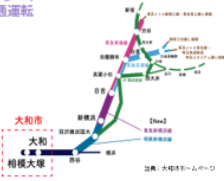
一方、貴重な都市空間であるブルムードを十分に活かされていない、個人店の減少など、まちのにぎわい低下につながる課題に対しての対応方法が求められています。



なぜ今、考えるのか

住む人にとって魅力的なまちへ！ JR線・東急線との相互直通運転

大和駅は、小田急線と相模線が交わる交通利便性の高い駅です。なでも相模線は、2019年11月にJR線、2023年3月に東急線との相互直通運転が開始され、都内までのアクセスがさらに向上しました。これに伴い、大和駅周辺を中心とした市内への転入や住み替えが期待されています。



訪れる人にとって魅力的なまちへ！ 2027年国際園芸博覧会の開催と次世代テーマパークの整備

2027年に隣接する緑谷区の旧上野谷地区で開催される国際園芸博覧会の開催や、その後、跡地で整備が予定されている次世代テーマパークの整備は、大和駅周辺にも多く人が訪れることが予想され、まちのにぎわいだけでなく、地域経済の活性化や就業機会の創出などに期待が高まります。



ブルムードなど大和駅周辺にある資源を最大限に活用しながら、大和市の中心拠点として明るく活気あるまちを目指した取組が必要

2) 官民連携で進めていくワケ

第1章・はじめに

まちの将来を考えると、行政だけでも、民間だけでも、できることには限りがあります。日々の暮らしを支える商店や企業、地域で活動する人々、そして行政が力を合わせることで、より豊かで持続可能なまちを育てていくことができるのです。そのため、私たちはそれぞれが持つ強みを活かしあい、まちを“誰がつくる”のではなく、“みんなで育てていく”、官民連携によるまちづくりを進めていきます。



民地側のオープンな空間や商業活動が、公共空間の賑わいを支え、公共空間が民間エリアの価値を高める

【参考】未来ビジョンの書割イメージ

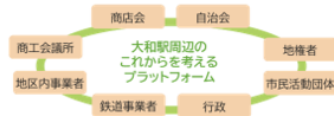
第1章・はじめに

3) エリアプラットフォームについて

地区内で商売・事業をされている方々や市民、行政が一堂に介し、
大和駅周辺のこれからを考えるプラットフォーム

エリブラってなに？

大和駅周辺に関わる多様な立場の方が集まり、
エリアの将来像や課題解決について話し合う
議論の「場」です。



なにをするの？

未来ビジョンの検討・作成

まちの課題や関心事を出し合いながら、大和駅
周辺が目指すまちの将来像やその実現にむけた行
動指針を示した、民間と行政が一緒につくるビジ
ョンを策定していきます。

未来ビジョンの実現に向けた実践

ただ考えるだけでなく、実際にまちなかで実践
を重ねながら、未来ビジョンの実現を目指してい
きます。

第1章・はじめに

4) 未来ビジョンとは？

大和駅周辺エリアで様々な主体がワクワクする大和駅周辺の未来を描き、
その実現に向け活動していくための活動方針等をまとめた共通指針

なぜ、未来ビジョンをつくるの？

みんなが同じ方向を
向くため

どんなまちにしたいかを多様
な主体や行政とで共通認識と
して持つため



参加のきっかけ

大和駅周辺に関わる人々がこ
の活動に関わってみたいと思
える入口となるもの



継続的に見直し
改善するため

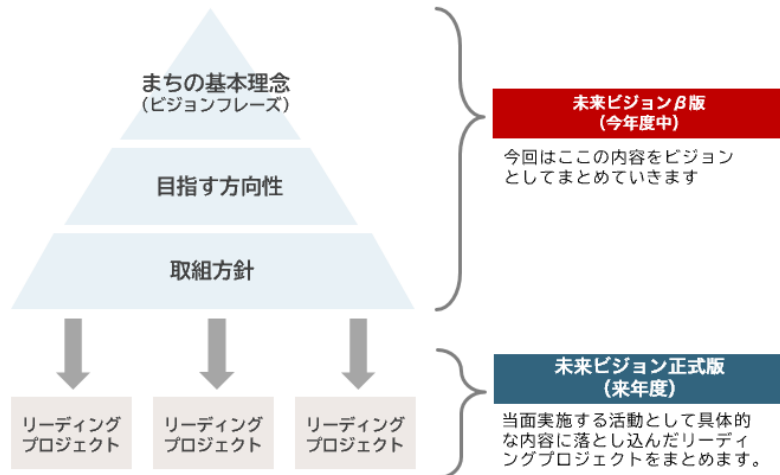
活動が組織の方向性に合っ
ているかを判断する基準であり、
取組を進める際の指針となる
もの



第1章・はじめに

4) 未来ビジョンとは？

未来ビジョンに書かれていること ～β版とは？～



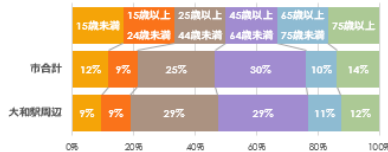
【参考】未来ビジョンの書割イメージ

第2章・大和駅周辺の今

1) 大和駅周辺エリアの特徴を捉える

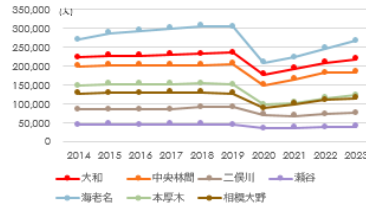
◆駅周辺の居住人口は増加傾向。利便性と価格のバランスがよく、若年層に人気

駅周辺の居住人口は、人口は近年ゆるやかに増加傾向にあり、どもから高齢者まで幅広い世代が共に暮らしています。
市全域と比べると、特に25～44歳の世代が多く、価格・アクセス・生活機能がよいことから、働き盛りの世代に人気のエリアといえます。



◆大和駅利用者の半数弱が乗り換え利用

大和駅の一日常乗乗客数は、相互直通運転を開始して以降増加率も高くなっています。
一方で、半数強は乗り換え利用で、まちにでる人は限られています。



第2章・大和駅周辺の今

2) 市民にとっての大和駅周辺

ニーズ調査の概要



みんなでカイギの概要



3～4 ページ程度で整理

第2章・大和駅周辺の今

3) 大和駅周辺の内なるチカラ

暮らしと

活動的な世代が集い、新しい動きが生まれるまち。

- 市全域と比較して25～44歳の働き盛りの居住人口割合が高い。
- 働く・学ぶ・挑戦するをキーワードに、まちでの活動や出会いから、新しいプロジェクトが生まれる余地がある。

来訪目的

暮らしの延長で訪れたいまち。

- 通勤・通学に加え、散歩・文化・食事・買い物など多様な来訪目的がある。
- シリウスには、わざわざ来る若者層もあり、放課後の時間帯は飽和状態。一方で、シリウスなど特定の目的地のみに訪れて、帰ってしまう人が多い。
- わざわざ来るだけでなく、つい立ち寄る人を増やせる余地がある。

人の流れ

通過ではなく、立ち寄りたくなるまちへ。

- 平日・休日ともに滞留人口が安定している。
- 夜間も一定のにぎわいがあり、夜のまちのポテンシャルが高い。
- 大和駅利用者の約半数は乗換利用。駅を通るだけでなく、過ごす・寄る・歩く人を増やせる余地がある。

周辺都市との比較

周辺エリアの拠点にはない、ローカル体験を育てる余地

- 海老名・町田・藤沢などの周辺の拠点都市に比べ、商業集積が過度ではない。
- その分、まちなかでの回遊や体験を育てる余地がある。
- 相互直通運転により、近隣・都心からの交通利便性がよい。
- 観光地ではなく、日常の中で過ごしたくなるまちとしての可能性が高い。

【参考】未来ビジョンの書割イメージ

第2回準備会で検討を踏まえ
本日、ビジョンとしてのたたき台をご提案します

1) 基本理念

第3章・ワクワクする未来に向けて

本日検討します

道すがらで見つかる
ゆっくり、たっぷり、いい時間。

「なんか今日、楽しかったね。」が、また大和にきたいのきっかけに。

大和駅周辺には、市の顔とも言えるシリウス、阿波踊りや骨董市をはじめとする多彩なイベント、個性ある複数の商店街、そしてプロムナードなど、人を惹きつける多くの魅力が備わっています。
交通の利便性にも恵まれ、訪れる人・暮らす人が交わる舞台がすでに整っています。これらの資源をゆるやかに結び付け、まちの中を歩くことで、思いがけない発見や出会いが生まれ、「道すがらで見つかる ゆっくり、たっぷり、いい時間」を感じられるような、滞在と回遊のまちづくりを進めていきます。

2) 4つの方向性と取組方針

方向性
1

途中も楽しくて心地よいから 歩きたくなるまちなか

方向性
2

わたしにとっての居場所や機会があるから
誰にとっても居心地よいまちなか

方向性
3

個性ある店舗、特徴異なる商店街の集積が
大和らしさを感じるまちなか

方向性
4

いつきてもなにかが起きている いつも気になる大和

2) 4つの方向性と取組方針

第3章・ワクワクする未来に向けて

方向性
1

途中も楽しくて心地よいから 歩きたくなるまちなか

大和駅周辺は、商店街や公共施設、公園など、様々な拠点がコンパクトに集まるまちです。その一方で、場所ごとのつながりや歩きやすさには、まだ改善の余地があります。

そのため、拠点と拠点を楽しくつなぐ歩行空間を整え、まちなかを歩くだけで気持ちよく過ごせるような環境づくりを進めることで、「歩くことそのものが楽しい」と感じられるまちを目指します。

取組方針

① 拠点間を楽しくつなぐ回遊動線

② 四季を通じて快適に過ごせるまちなかづくり

③ 安全な歩行者動線の確保

④ 広域からの来訪を支える環境づくり

2) 4つの方向性と取組方針

第3章・ワクワクする未来に向けて

方向性
1

途中も楽しくて心地よいから 歩きたくなるまちなか

取組方針① 拠点間を楽しくつなぐ回遊動線

商店街、シリウスを初めとする公共施設、公園など、大和駅周辺の様々な拠点をつなぐ歩行空間を整えて、楽しく、心地よく歩ける回遊動線づくりを目指します。

例えばこんなこと！

- ・図書館の道のシンボルロード化（沿道建物のオープン化など）
- ・ふれあいの森・泉の森や引地台公園等へのアプローチ
- ・店先空間の活用による歩み出しのある商店街づくり
- ・商店街等、歩行者メインのストリートでの舗装の高質化
- ・かんざし通りの整備
- ・歩いて楽しい街並みづくり

活動のヒント

◆東側プロジェクト（図書館の道）
令和5年度社会実験の様子



◆事例：沿道店舗の道路空間への歩みだし
（岡崎市康生通り）



方向性ごとのまとめ方のイメージ

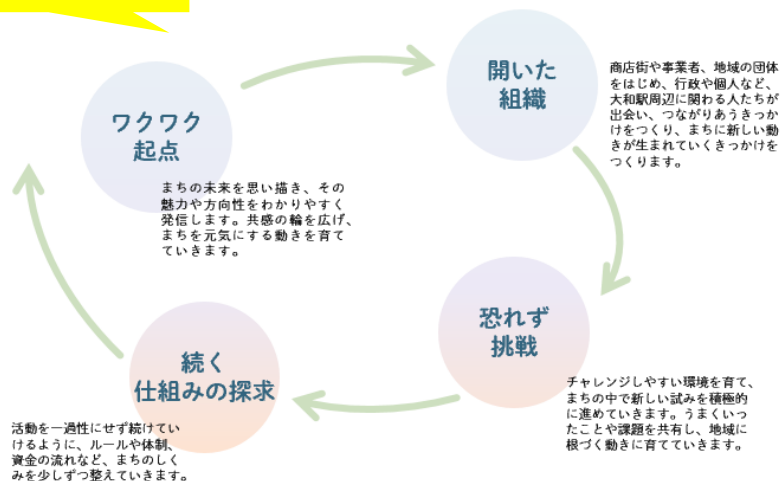
【参考】未来ビジョンの書割イメージ

1) エリアプラットフォームの役割と取組姿勢

第4章・実現に向けて

本日検討します

プラットフォームは、大和駅周辺に関わる多様な主体が協働し、
土台として4つの役割を担います。

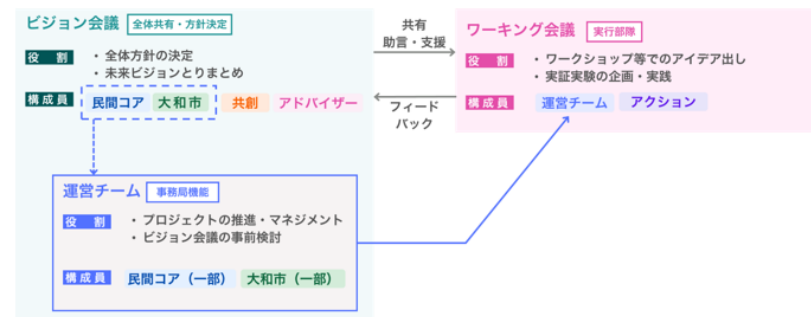


2) エリアプラットフォームの体制

第4章・実現に向けて

次回のテーマ

エリアプラットフォームの必要性と役割



3) ロードマップ

第4章・実現に向けて

次回のテーマ

次回のスピンオフで
来年度の短期アクション企画も
スタートさせたいと考えています

4) リーディングプロジェクトの切り口

第4章・実現に向けて

次回のテーマ

- ・プロムナードの活用
- ・エリアブランディング（ロゴ検討プロジェクト）
- ・花博に向けた短期アクション